

大正四年一月

巡礼船運取報金丸
付耳書官憲
歴込
二
月
二
日

外務省

附屬書類添附

大正四年一月廿八日接受

第一課

公信第五號

大正四年一月七日

在新嘉坡

領事

藤井 実



外務大臣男爵加藤高明殿

巡礼輸送船報國丸對スル土耳其官憲ノ壓迫ノ

壓迫ニ関スル件

本件ニ関シ南滿洲汽船株式會社当地出張所主任甚大忠雄より別紙ノ通り報告候付右写取御案考及御送付候敬具

第1314号
第26号

大正四年二月

一日記録第二部接受

館事領本日坡嘉新在

報國丸ニ對スル土耳其官憲ノ壓迫

報國丸ハ巡礼輸送船ノ目的ヲ以テ大正三年十月二十日キートンスタン渡実大ニ廻航羽立廿四日今地へ着タルニ當會社輸送ニ係ル千五百拾九名ノ巡礼已ニ本船ニ來着ヲ待受ケ爾余ノ巡礼ハ尙ナカニ逗留中ナルコトヲ確メタリ依テ本船ハ前記人負ヲ搭載シ即日出帆豫定ナリニ在實大土耳其官憲ハ當時今地ニ集合シタル深川汽船會社輸送船大西丸ノ輸送ニ係ル巡礼六十余名及トンボノ号ノ巡礼參百余名ヲモ合セテ乗船セシキ旨強硬ナル態度ヲ以テ申込來リ是ヨリ官許ノ搭載負數ヨリモ三割五分ノ増載ヲ許スル旨申來リタルニ海峽植民地政府ノ附与セル本船搭載制限ハ千二百五十拾人ナニ相當ナル係

大正四年二月

一日記録第二部接受

館事領本日坡嘉新在

証書類ヲ得ルニ非サレ該申込ニ断然應シ難キ旨
ヲ答ヘタルニ該官憲ハ重ネテ本船代理店ヲ通シテ
兵力ヲ以テモ之ガ実行ヲ期スル旨通牒シ来リタルヲ以テ
本船々長ハ更ニ直接土耳古官憲ト會見シ事ノ
解決ヲ見ント歟シ其次第ヲ申込ミタルモ茲何事
何等ノ回答ヲ得ス一方土耳古官憲ハ部下アラブ人
ヲ年シ暴力ヲ以テ前記巡礼ノ搭載ヲ強行シ船員
ノ之ヲ拒止セントスルヤ該アラブ人等ハ或ハヒストルヲ擬シ
或ハ密刀ヲ振舞フニテ船員ヲ威嚇シ本船員ヲ以テ
策ノ施スナキニ至ラシメ遂ニ彼等ノ目的ヲ達シ刺サヘ
此等アラブ人ハ船内ニテ略奪ヲ恣ニシタル右引揚ケ
タリ然モ本船ト陸上トノ交通ハ人煙ノ如何ヲ問ハス一
切遮断セラレタルヲ以テ又策ノ施ス可キモノナク彼等

館事領本日坡嘉新在

ノ如ク儘ニ安スル外ナキ當時英國領事館及
本社代理店ハ僅カニ人ノ留守居ヲ残シ閉鎖セシメ
テタルヲ以テ此等ヲサレテモ何等有効ナル談判ヲ
ナスコト能ハザリキ唯土耳古官憲ハ最後ノ便船ニ此
ニテ甚タ疑ハシキ健康証書ヲ送付シ来リタルヲ以テ
為念最後ノ手配トシテ一切ノ顛末ヲ記述シ抗議
書ヲ本船々長ヨリ送リ之ニ回答ヲ求メ尚一日尙出帆ヲ
延期シタルモ遂ニ何等ノ回答ニ接セズ已ムナク本船ハ
廿日庚戌出帆廿九日ポートスタン着該地港務官
憲ニ對シ一切ノ報告ヲナシ即日出帆十二月三日彼南
着港々務局長ニ對シ今様ノ届出ヲナシ十二月廿六
日ヲ以テ當地ニ帰着セリ右御報告申上候也

大正四年一月五日

館事領本日坡嘉新在

南滿洲汽船株式會社新嘉坡出張所

芒木忠雄

新嘉坡駐在

帝國領事 藤井実殿